



「杉田劇場」を目指して、JR 根岸線新杉田駅のコンコースを歩いていると、元気な老紳士たちから「秋吉さん!」、「秋吉さん!」と呼びかけられました。彼らは「杉田劇場」での「映画と講演のつどい」の準備のために、早めにやって来た沿線 9 条の会のメンバーでした。夫の回復をととても喜んでくださいました。私たちは下の孫を伴って、3 人連れでゆっくり歩いていましたが、孫を紹介しているうちに、いつの間にか夫の足並みは友人たちと並んで歩けるほどに

なってきました。さて、沿線 9 条の会では、「コスタリカ」をキーワードに講演「コスタリカから 9 条へ」、映画「コスタリカの奇跡」を楽しむことになっていました。



講演された伊藤千尋氏は、国際ジャーナリスト、九条の会世話人として活躍しておられますが、「コスタリカ平和の会」共同代表でもあります。コスタリカ人になりきったようなラテン系の明るい笑顔で、またエネルギーなお声で講演されました。国際ボランティア、調査探検隊長の経験をお持ちの行動派です。

コスタリカは日本から遥かに遠く、カリブ海と太平洋の海岸線を有し、また、険しい熱帯雨林が広がる中央アメリカの国です。人口は 500 万弱、面積は日本の十分の一強、一人当たりの名目 GDP は日本の三割に達しませんが、軍隊のない、教育費無償、国民皆健康保険の平和な国です。このような小国が、2019 年国連の幸福度調査で 12 位(日本は 58 位)を勝ち得ている理由はどこにあるのでしょうか。私は指導者たちの系譜の中に、「誰もが愛される権利を持つ」というコスタリカの憲法の理想を現実化してきた高い精神を感じずにはられません。



1870 年に軍人で、自由主義者のトマス・グアルディアがクーデターにより大統領になり、憲法を制定し、民主的な社会が成立する素地を作りました。彼は死刑も廃止しています。この憲法は 1948 年まで維持されました。グアルディアの政権は明治維新と時期がほぼ同じです。日本では地方の 4 藩が幕府を倒して開国し、民主主義とは真逆に、天皇を担いで、経済力、軍事力を求める道を進み始めました。



1940 年に行われた大統領選挙では社会民主主義のカルデロン・グアルディア政権が誕生し、労働法の制定、社会保障の制度化、コスタリカ国立大学の創設など労働者や中間層寄りの政策を進めたといひます。外交では 1941 年の真珠湾攻撃により、太平洋戦争が勃発すると、合衆国に先駆けて枢軸国に宣戦布告しました。



1948 年の大統領選挙が不正であることが明らかになると、野党のホセ・フィゲレス・フェレルが反乱を起こし、内戦が勃発。6 週間の内戦の後にフィゲレスが勝利し、翌年の 1949 年憲法が施行され、常備軍は廃止され、それまで軍の担っていた役割は警察に移管されました。軍事費は、教育、福祉に振り替えられました。日本の次に平和憲法を持つ国となりました。自衛隊はありません。



1986 年に就任したオスカル・アリアス・サンチェス大統領はアメリカの対ニカラグア強硬政策に追随することを良しとせず、国内の基地は撤去され、さらに中米紛争そのものの解決のためにも尽力しました。この中米和平実現のための努力に対して、アリアスには 1987 年ノーベル平和賞が与えられました。(情報・写真等はウィキより)

紛争は「積極的平和外交」により解決する立場に立ち、「核兵器禁止条約」の提案国として働き、大統領、国会議員も任期 4 年で、連続の再選は禁止され、権力者を作らないのが国是です。小国ゆえに、大国やグローバル資本に翻弄され、苦難も味わいつつ、国際社会で平和を発信し続けています。